

**【開催概要】**

開催日時：令和3年12月22日（水） 10時00分～12時10分

開催場所：鉾田市役所旭総合支所 2階庁議室

**【出席者】**

委員：樋口委員（委員長）、市毛委員（職務代理）、井川（茂）委員、勝村委員、富田委員  
井川（斉）委員、大川委員、渡邊委員

事務局：岸田管理者、國井副管理者、組合（5名）、エイト日本技術開発（5名）

傍聴者：なし

**1. 開会**

**2. 管理者挨拶**

岸田管理者より挨拶を行いました。

**3. 副管理者挨拶**

國井副管理者より挨拶を行いました。

**4. 委員委嘱**

岸田管理者より委嘱状の交付を行いました。

事務局より各委員の紹介を行いました。

**5. 委員長の選任及び委員長職務代理者の指名**

樋口委員が委員長に選出され、決定しました。

委員長の指名により市毛委員が職務代理者に選出され、決定しました。

**6. 諮問**

岸田管理者より委員長への諮問を行いました。

**7. 議事**

**（1）委員会の運営について**

事務局より、委員会の運営について説明を行いました。

**【質疑応答】**

（委員）

傍聴については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受付でワクチン2回接種証明や体調の確認を行って頂けますでしょうか。また、定員は5名とのことですが、広い会場であれば定員を適宜増加させてご対応頂ければと思います。

(委員長)

傍聴の手続き、定員についてご意見を頂きましたが、異議等はございませんでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

では事務局は委員のご意見の通りご対応をお願いします。

(事務局)

承知しました。

## (2) 事業概要について

事務局より、資料5を用いて事業概要について説明を行いました。

### 【質疑応答】

(委員)

委員会スケジュール案では、次回委員会でごみ処理方式を決定することになっていますが、短期間で進めなければならない理由を教えてください。高額な事業であることから数回に渡って処理方式を検討し、より良いものを作るべきと考えます。

(事務局)

令和9年度の施設稼働開始を目標としてスケジュール案を設定しており、そのためには2月にプラントメーカーへのアンケート調査を実施する必要がありますので、それに先立ち次回の委員会で処理方式を決定したいという意図でございました。稼働スケジュールを考慮しながら必要に応じて委員会の開催回数は増やし、議論をして頂きたいと考えています。

(委員長)

短時間で決定できるように事務局は委員に分かりやすい十分な検討資料の準備をお願いします。

(事務局)

承知しました。

(委員)

施設規模については基本構想で検討したものを現在見直しているとのことですが、いつ頃決定するのでしょうか。また、大きな変更はあるのでしょうか。

(事務局)

1月中には決定する見込みです。大きな変更はなく、数トン/日程度と考えています。

(委員)

プラントメーカーへのアンケート調査は何社に依頼するのでしょうか。その際に処理方式や事業方式についてアンケートを取るのでしょうか。

(事務局)

委員会で処理方式を決定し、事業方式も数種類の方式に絞り込んだ上で調査を行います。調査対象メーカーは処理方式にもよりますが、焼却単独の場合だと 10 社程度となります。アンケート調査では、処理方式に基づく各メーカーの見積金額と、希望する事業方式を確認し、調査結果を踏まえて事業方式を決定します。

### (3) 処理方式について

事務局より資料 6 を用いて処理方式について説明を行いました。

#### 【質疑応答】

(委員)

基本構想で 2 種類の処理方式が抽出されていますが、先進的なものも含めてその他の選択肢は考えられないのでしょうか。

(委員)

先進的な方式もありますが、かなり小規模な事例に限られます。今回の施設規模から見ますと、抽出された 2 種類の方式は妥当なものかと思えます。

(委員)

焼却方式（ストーカ式）＋メタン発酵方式（乾式）の場合、ごみ分別区分の変更は必要ないのでしょうか。

(事務局)

メタン発酵方式（乾式）の場合、機械選別を行うことが可能なので、分別区分の変更は必要ありません。

(委員)

焼却方式（ストーカ式）＋メタン発酵方式（乾式）は多量の排水が発生しますが、処理に問題はないのでしょうか。

(事務局)

建設地付近には公共下水道が整備されていないので、放流する場合は十分な排水処理が必要となります。焼却炉に排水を噴霧・蒸発させて無放流とする方法もありますが、本施設の規模で無放流が可能か否かは現在プラントメーカーに確認中です。

(委員)

茨城県内に焼却方式（ストーカ式）＋メタン発酵方式（乾式）の事例はあるのでしょうか。

（事務局）

県内にはなく、全国では稼働中の施設が4件（兵庫県南但広域行政事務組合、山口県防府市、京都府京都市、京都府宮津与謝環境組合）、建設中の施設が2件（東京都町田市、鹿児島県鹿児島市）となっています。

（委員）

十分な排水処理を行うとしても海へ放流するのであれば、福島原発の処理水問題のように、漁業に悪影響を及ぼしかねないため、処理水を放流されては困ります。他事例施設は公共用水域の近くにあるのか、公共下水道に放流しているのかなど、他事例の立地場所や放流状況等の詳細な情報について事務局で調査をお願いします。

（委員）

焼却＋メタン発酵方式だと焼却施設が1炉構成となっていますので、故障等で稼働停止となった際の対応方法についても情報提供頂けますでしょうか。その他、判断材料として建設費・維持管理費、メリット・デメリット等に係る資料を可能な範囲でご提供頂ければと思います。

（委員長）

詳細な建設費・維持管理費の提示は難しいと思いますが、他事例等を参考として事務局で資料の作成をお願いします。また、各委員のご意見を踏まえまして、評価項目には排水に係る環境の項目を追加し、各項目の詳細を言葉だけでなく数値で示した表を用いて検討すべきと考えます。加えて、同規模で発電付きの焼却単独（ストーカ方式、2炉構成）の採用事例も調査して頂けますでしょうか。

（事務局）

承知しました。

#### （４）事業方式

事務局より、資料7を用いて事業方式について説明を行いました。

【質疑応答】

（委員長）

実績の多いDBO方式に、積極的な民間活用を行うPFIとしてBTO方式を加えた2方式で妥当かと思いますが、何かご意見はございますでしょうか。

（委員）

今後、事業方式を検討する上での判断材料として、各方式の事業スキーム、特別目的会社（SPC）と組合との関係性などを示したわかりやすい資料を一般例で良いのでご提示頂ければと思います。

(委員)

焼却灰の搬出・運搬、資源物売却などの事業範囲の例についても資料をご提示頂けますでしょうか。

(事務局)

承知しました。

(委員)

事業方式の一次選定は、処理方式の決定と同時期で問題ないでしょうか。

(事務局)

同時期で問題ありません。

## 8. その他

(事務局)

次回委員会の開催日程につきましては、追ってご連絡致します。

## 9. 閉会

以上